

最終更新日 H24.10.24
改修技術 No. 14101103

性能分野	防災性
大分類	震災後の生活性能維持
中分類	生活継続可能日数に関する項目
技術の名称	太陽光発電設備の設置

- ・外部からの電力供給が途絶したときの電源にも役立つよう、太陽光発電設備を設置する。その場合に蓄電装置（バッテリー）の設置が役に立つ。
- ・太陽光発電設備の選定には発電可能な昼間使用する機器を対象にする必要がある。夜間の電力負荷を想定する場合には、電力負荷に見合った蓄電装置（バッテリー）が必要になる
- ・大規模な太陽光発電パネルは建物屋上や敷地内空地に設置するとともに建物の受変電設備の改修も必要になる。
- ・屋上に設置する場合、屋根防水への影響に注意する必要がある。
- ・月1回の定期保守（太陽電池モジュール、ケーブル、パワーコンディショナ、連系保護装置等）と年1回の定期点検（100Kw以上：電気事業法第42条に基づく保安規程）が必要となる。

改修技術の概要



図1 太陽光パネル写真

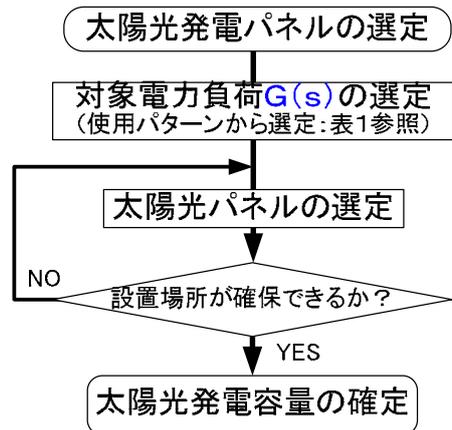


図2 太陽光発電容量設定フロー

表1 太陽光発電容量設定の例

	機器名称	電力負荷 (kW)	グレード			備考
			3	2	1	
大 ▲ 重 要 性	(1) 給水ポンプ - 1					飲料水ポンプ
	(2) 排水ポンプ - 1					地下階用排水ポンプ
	(11) エレベータ - 1					
	(12) エレベータ - 2			×	×	
	(21) 換気ファン - 1					
小 ▼	(31) 照明器具 - 1			×	×	
	必要保安負荷 (kW)		(1~31)	(1~21)	(1~11)	
	選定機種名			×	×	*

